単 元 名	Unit 1　　Let's Learn Braille	配当時間	６～９時間
単元の目標	(1) 図や絵を使って説明したり，最近の体験を発表したりしようとする。 (2) ｏ受け身形を用いて身近なことを表現することができる。 ｏ図や絵を使って説明したり，最近の体験を発表したりすることができる。 (3) ｏ点字の成り立ちや仕組みと，マークの体験を読んで，その内容を理解することができる。 ｏボランティアの案内や説明を聞いて，その要点をつかむことができる。 (4) 受け身形の用法を理解することができる。		

☆本単元では，中心的言語材料である受け身形を確実に身に付け，運用できるようにさせたい。また，点字に関する本文の内容理解を通して，共に生きる社会に対する意識を高めたい。

①★**SO** 受け身形の平叙文の用法を知り，練習する。 ②★**D(1)** 受け身形の疑問文と応答の仕方を知り，それを用いて簡単な対話をする。 受け身形のクイズを作って，友達に出題しよう。 評受け身形を用いて身近なことを表現することができる。 （発表，観察） ③ **D(2)** ペアでの対話文の暗唱と受け身形を用いたコミュニケーション活動に取り組む。 ④★**RC P.6** 点字の仕組みについての説明を読み取り，手話について絵を使って簡単に説明する。 ⑤★**RC P.7(1)** マークの体験を読み取る。また，「make＋(代)名詞＋形容詞」の用法を理解する。 ⑥ **RC P.7(2)** 本文を参考にして，最近始めたことなどについて英語で発表する。 ⑦★**LP1** ボランティアの案内や説明を聞き取る。また，資料を参考に共に生きる社会について考える。 ⑧★**まとめ１** ニュースのヘッドラインを作る活動を通して，受け身形の用法をまとめる。 ⑨ **単元のまとめ** 学習事項をまとめ，単元テストに取り組む。	①・対話による口頭導入 ・生徒との対話形式の口頭練習 ②・対話による口頭導入 ・受け身を用いたクイズの出題 ③・対話練習における生徒の相手 ・コミュニケーション活動への参加 ④・本文の範読 ・文章づくりのアドバイス ⑤・本文の範読 ・基本文の例文とそれを用いた対話の提示 ⑥・文章づくりのアドバイス ⑦・ボランティア体験についてのスピーチ（自国の中学生のボランティア活動に対する取り組みや，日本にはないボランティア活動の紹介など） ⑧・最近のニュースによるヘッドラインの作成と提示 ⑨・受け身形を使った例文の作成

ｏ①の受け身形の導入は，様々な形が考えられる。１つの物について絵を見せながら受け身形でいろいろな説明をしていき，生徒が推測できるような導入は生徒のモチベーションを高めやすい。
ｏ②のdialogの「対話をかえてみよう」では，教科書の例以外のトピックも考えさせることができる。よい例は発表させるようにし，ペアでのロールプレイを活性化させるとよい。
ｏ③のコミュニケーション活動においては，受け身形を利用したクイズづくりも考えられる。
ｏ⑧のニュースのヘッドラインは英字新聞を用いるなどして時事英語にふれさせる機会としたい。生徒の興味・関心をひく話題で盛り上げることもできる。